

ニューズレター No.103

発行人 谷川 裕稔

2018(平成30)年4月10日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.103をお届けいたします。今回は、

- (1) ホームページのリニューアルのお知らせ
- (2) 第14回全国大会のHP開設のお知らせ
- (3) 2017年度第4回理事会の報告
- (4) 合同フォーラム研究会(東北支部会/ICT活用教育部会と大学eラーニング協議会(UeLA)の共催)の開催報告についてお知らせいたします。

ホームページのリニューアルのお知らせ

4月1日に学会のホームページをニューリニューアルいたしました。一度、ご覧いただければと思います。

なお、これに伴い、3月下旬にMLのメンテナンスをおこないました。皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

第14回全国大会のHP開設のお知らせ

第14回全国大会のHPが開設されました。

一般研究発表申込み(口頭発表・ポスター発表)・事前参加申込み(全国大会・情報交換会)・企業展示、ポスター・デモ発表の申込みは4月9日(月)より受付を開始しております。

大会の詳細内容は次号のニューズレターにてお知らせいたします。

2017年度第4回理事会の報告

以下の要領で、2017年度第4回理事会を開催いたしました。議題の概要について示します。

期日:2018年3月26日(火)14:30~17:00

場所:国際文献社会議室

【審議事項】

1. 2018年度予算(案)
提案どおり承認されました。
2. 2017年度事業報告書(案)・2018年度事業計画書(案)

提案どおり承認されました。

3. 専門部会の統廃合

将来構想委員会の提案を審議の上、下記の3点が承認されました。

- ①コミュニケーション能力育成部会を廃止する
- ②特別学修支援部会を学習支援部会に統合する
- ③教職協働部会を学校教育部会に統合する
- ④学習言語部会は存続する

4. 会費の値上げ

前回の第3回臨時理事会では、会費の値上げが承認されました。これを受けて、本理事会では、会計状況に照らし会費の値上げ幅について審議しました。本件については将来構想委員会で引きつづき審議を行ないます。なお、本件に関連して会費以外の収入源を模索することが提案され、学会誌に有料の広告掲載欄を設けることが承認されました。広告掲載料の額や掲載のガイドライン等についても、引きつづき審議を行なう予定です。

5. 会誌への投稿(掲載)料

投稿種別ごとの投稿(掲載)料徴収の有無や、具体的な額について審議を行ないました。本件については将来構想委員会で引きつづき審議を行ないます。

6. 国際交流員会委員長

中山誠一氏の就任が承認されました。

7. 研究活性化委員会

研究奨励賞の名称を「論文賞」とすること、論文賞を「論文優秀賞」と「実践優秀賞」に分け、前者の対象を「論文」「研究ノート」に、後者の対象を「実践研究論文」「実践報告」にすることが承認されました。

【報告事項】

1. 会長・業務執行理事・役員業務報告
2. 全国大会企画委員会
3. 編集委員会
4. 支部・専門部会報告・事業計画
以上について、各担当者から報告がありました。
5. 研究活性化委員会

前回理事会で発足を検討した大学教育学会の「課題研究集会」をモデルとする課題研究大会は、名称を「課題研究大会」とすることが承認されました。

6. 将来構想委員会

リメディアル教育の定義について、「入学前から大学院まで、すべての大学生を対象に、困難な点をすべて支援する教育」という方向性で検討を進めていることが報告されました。具体的な文言については、あらためて将来構想委員会で検討します。

7. ホームページ

部会・支部会についての記事を各部会がアップするよう変更することが承認されました。また、全国大会にてHP更新のための講習会を行い、各支部・専門部会などから担当者を1名選出することが確認されました。

合同フォーラム研究会（東北支部会／ICT活用

教育部会と大学 e ラーニング協議会(UeLA)

の共催) の開催報告

2018年2月28日(水)・3月1日(木)に岩手県立大学において、東北支部会およびICT活用教育部会の総会・支部大会・研究会を大学 e ラーニング協議会との合同フォーラムを、「ICT活用教育の組織的な導入と運用」をテーマに開催いたしました。

■日時・会場

1日目:2018年2月28日(水)岩手県立大学 滝沢キャンパス

2日目:2018年3月1日(木)岩手県立大学 アイーナキャンパス

■参加者数

1日目:フォーラム参加者72名、岩手県立大学FD研修として参加者26名

2日目:フォーラム参加者52名、東北支部総会(出席者東北支部会員4名、聴講者12名)

==

2月28日:基調講演2件、事例報告3件、ポスター発表10件

3月1日:午前10件、午後13件

3月1日:JADE企業展示(4社、1団体)

1日目午前は、事例報告会(1)として入学前教育・初年次教育・スキル教育(反転)にトピックを絞り、ICTの活用事例(3件)がセミナー形式で報告されました。また、大学 e ラーニング協議会が提供するシステムの機能や教材の紹介も行われました。午後には、山路尚武先生(文部科学省高等教育局専門教育課課長補佐)と尾家祐二先生(九州工業大学学長)から、ICT活用教育に関する基調講演として2件の講話を頂きました。さらに事例報告(2)としてポスター発表10件が行われました。

2日目には、各大学の事例発表・研究成果を中心とした口頭発表23件が行われ、会員大学以外からお含め多数のご参加・発表がありました。幅広いテーマで興味深い研究発表が行われ、多様な知見に触れる機会にもなり、これからのICT活用のノウハウについて情報収集する機会となりました。

今回、大学 e ラーニング協議会(UeLA)との合同開催により、2日間で、例年を上回る延べ150名の先生方に来場いただき、また充実した企業展示もあり、盛会のうちに終了することができました。さらに、CCC-TIESのご支援により予稿集を発刊することができました。また、新たに日本リメディアル学会員への加盟を希望される先生方もおられ、本学会の活動内容にご関心・ご興味を持たれた方が多数お集まりになり、日頃の研究成果をご発表いただく機会となりました。

合同フォーラム開催にあたり、ご支援いただいた皆さま、ご参加・ご発表いただいた先生方、新たな共同研究メンバーとしてご参加いただいた先生方をはじめ、関係各位に心より感謝申し上げます。今後もこのような合同企画も検討しつつ、本学会の活動内容や研究成果の発信を積極的におこなっていければと考えております。

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限ります(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。